

日本メジフィックス株式会社 北陸ラボ

患者さんのために

医療を担う方々とともに

1973年創業の日本メジフィックス株式会社は、放射性医薬品の研究開発と、製造販売などを行う会社。2018年3月、本市のフロンティアパークに、全国で11カ所目となる製造拠点（PETラボ）を新設しました。

放射性医薬品と聞くとちょっと不安に感じる方もいらっしゃるかもしれませんが、この北陸ラボで製造されているのは、医療機関（病院）で「PET検査」に使用される医薬品。「PET検査」は主に「がん」の有無や広がり、他の臓器への転移がないかを調べたり、治療中の効果を判定したり、治療後の再発がないかを確認するなど、さまざまな目的で行われる精密検査として知られていますね。

聞くと、PET検査薬に含まれる放射性物質はごく微量で、短時間（約2時間）で効力が半減してしまふのだそうです。そのため、PET検査薬の供給は時間との闘いと言われており、ラボの設置場所はこれまで交通利便性の高い土地が選ばれてきたとか。その点、高速道路網が充実した小矢部市は、ラボの設置に最適だったと言います。現在、北陸ラボで製造され



たPET検査薬は、富山県、石川県、福井県、岐阜県の一部の医療機関に届けられています。ちなみに、PET検査薬は、朝、昼、午後の3回に分けて配送されており、常に出来立ての製品が時間どおりに医療機関に届くように

なっています。そのため、夜間勤務を含む勤務シフトを組み合わせて対応しているのだと教えてくれました。日本の医療は本当にさまざまな企業・人たちの尽力で成り立っていますね。

北陸ラボで製造しているのは治療薬ではなく、病気の早期発見と診断に役立つ薬。病気を早く見つけて治したい、という誰もが願う想いを叶えるため、今日も患者さんのために、医療を担う方々とともに挑戦を続けています。



働く人に聞きました



すぎやまりよ 亮介さん
（平成24年3月入社）

ち上がりしました。私も神奈川ラボから転職してきました。ラボは小矢部市にあります。富山県出身者はおらず、事務所ではいろいろな方言が飛び交っている少し変わった職場になります。ただ、同年代の従業員が多いのでラボの雰囲気は良好で働きやすい環境です。医薬品製造のためクリーンな環境の維持、放射線取扱施設としての安全の維持を常に意識して作業に取り組んでいます。

うちの会社の強み

その1 放射性医薬品のリーディングカンパニー
その2 新しいことに取り組むチャレンジ精神

事業所データ

事業所名	日本メジフィックス株式会社 北陸ラボ
設立	平成30年
業種	医薬品製造業
住所	フロンティアパーク12
電話	69-7557